

西参道テラス

設計 | 石川素樹建築設計事務所



CoretokyoWeb

建築主 岡部 陽子
 設計 一級建築士事務所株式会社石川素樹建築設計事務所
 施工 株式会社渡辺富工務店
 所在地 東京都渋谷区
 主要用途 長屋、事務所
 構造 RC造、一部木造
 階数 地上3階
 敷地面積 353.11㎡
 建築面積 208.25㎡
 延床面積 481.06㎡
 工事期間 2015年12月~2016年11月
 撮影 西川 公明



南側外観夜景。4戸の分棟長屋形式の集合住宅。



3階LDK。



2階レベルの専用庭。



2階主寝室。

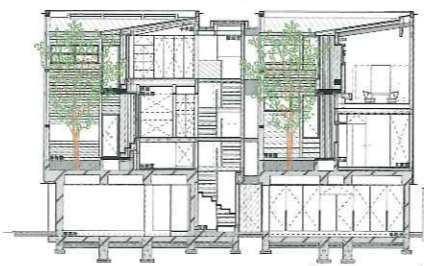
大ぶりの集合住宅が建ち並び敷地環境において、スケールを抑えた3階建て戸建て住宅のボリュームを4棟連ねた分棟長屋形式の集合住宅である。

平面プランを転回させる簡素な操作で共有部からの動線や各戸間の視線のコントロールを可能とし、分棟同士を結びつける緑豊かな共有庭と、格子越しの美しい光が空間に広がりをもたらす専有庭とを設けることで、住まい手が戸建住宅と遜色ない暮らしができることを求めた。

内部は構造フレームのルールを統一した田字型平面形状に対し、専有庭と各室と階段棟を螺旋状に回遊する立体構成とすることで、建築のボリュームを最大限に感じる設えとなっている。

外部はスギ材の格子で住戸を包み、防犯性の向上とプライバシーの確保に加え、日射負荷を低減させることで躯体の劣化を抑制している。

褪色するスギの表情や抑制されたプロポーションにより、刻々と変化するまちなみに溶け込みながらも有機的にあり続けることを期待している。(石川 素樹)



断面図。



石川 素樹(いしかわ・もとき)
 1980年 東京都生まれ/2007年 手嶋保建築事務所入所/2009年 石川素樹建築設計事務所設立/2016年 株式会社化

梅郷礼拝堂

設計 | 加藤詞史/加藤建築設計事務所



CoretokyoWeb

建築主 宗教法人 大師山報恩寺、株式会社 世川
 設計 一級建築士事務所株式会社 加藤建築設計事務所
 施工 株式会社 渡辺富工務店
 所在地 千葉県野田市
 主要用途 寺院
 構造 木造
 階数 地上1階
 敷地面積 2,970.85㎡
 建築面積 220.41㎡ 延床面積 193.58㎡
 工事期間 2015年11月~2016年6月
 撮影 *畑 拓 **加藤 詞史



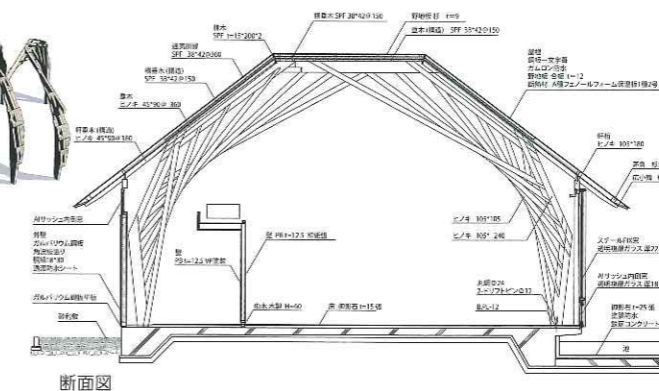
南側より俯瞰。屋根は3つの方向に延びる。



内陣から池側を見る。相持ちによる105角ヒノキ材の架構。



組柱構成図



断面図

場所を書き換えて柔らかな公共性を得る

建物は、美しい竹林、日本庭園、盆の行事等を行う池の3方向に沿ってのびる柔らかな曲線を持ち、自然と一体となった(宗派不問の)新しい考え方に基づいた礼拝施設である。

1395年、野田市内に創建された寺院の別院で、廃寺となった寺院の再興。新たに礼拝堂を建て古い霊園を整備、新住職をおく計画。

今後100年単位で使用される祈りの場所には、新しい使い方を実現して行くプランニングと長持ちする性能が重要であると考え、多様な活動を促す平面計画、祈りの対象としての屋根と架構、経年変化に対する木仕口を、その解とした。

この空間の実現を、組柱が相持ちで支え合った架構で構想。構成は身近な材の集積が特徴で、場所の力を総合的に高めている。寺院が地域に対して、どのように開き、接点をもつかを課題として、運営とさまざまな催事に取り組んできた。寺院が地域を結び広がる顔の見えるつながりが重要になると考えている。(加藤 詞史)



基本となる3つの組柱の施工段階。



加藤 詞史(かとう・ことみ)
 1964年 岐阜県生まれ/1989年 早稲田大学工学部建築学科卒業/1991年 同大学院理工学研究科修士課程修了/1991~2003年 池原義郎・建築設計事務所/2006年~ 加藤建築設計事務所主宰/2008~10年 早稲田大学建築学科助教/2010年~早稲田大学理工学研究所研究員他